館林市社協の活動紹介

社会福祉協議会「略称：**社協（しゃきょう）**」は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる『福祉のまちづくり』を目指して、地域住民やボランティア・当事者団体、福祉関係団体と連携しながら、地域福祉活動を展開しています。

令和６年度は、次の３つを重点目標としました。

◆相談窓口と調整

「ふくしの総合相談窓口」を充実させ、一人一人の小さな不安に寄り添い、抱えている困り事が複雑で多岐にわたる場合は、福祉の専門職が協働で解決にあたります（重層的支援）。

◆協力者・支援者

地域住民の代表者（社協支部長）が参加する「地域福祉推進会議」で、地域の課題や取り組みを共有し、地域の役員や委嘱委員、支え合い協力者（地域ボランティア）との連携を強化し、新たな協力者の発掘育成にも力を入れています。

◆集会・行事・活動

地域の集会所等を拠点にした「サロン」や「通いの場」の活動、子育て世代と高齢者世代の交流の場づくり、ひきこもりサロンや親の会の活動を拡充し、生きがいやふれあい、仲間づくり・健康づくりを支援してまいります。

また、コロナ禍を背景に生活困窮が続いているかたへの食糧支援「フードドライブ活動」を市民の理解と協力を得ながら継続し、福祉の向上を目的に活動するボランティア団体やＮＰＯ法人への活動支援や障がい者や高齢者の権利を守る成年後見事業・日常生活自立支援事業の普及啓発と利用促進、年を重ねても在宅生活を続けられるよう介護保険事業（訪問介護・通所介護）に継続して取り組んでまいります。

市社協・支部社協の活動の一部を紙面にてご紹介します。

【発行】

館林市社会福祉協議会

館林市苗木町2452番地の1

問合せ　７５－７１１１

URL　http://tshakyo.ec-net.jp/

E-mail　tshakyo1@siren.ocn.ne.jp

ＳＮＳ　Ｘ（旧Twitter）始めました

@tate_shakyo

児童・生徒の体験的な学びの場「ボランティアスクール」

パラスポーツの「ボッチャ」元日本代表の岩下さんを講師に招き競技との出会いと障がいについての講話と参加者でボッチャを体験しました。

みなさまの善意に支えられた「フードドライブ活動」

年３回実施している「相談配布会」で、１０１世帯、延べ３０６名に食料品等を配布しました。食料品等は随時受け付けております。

市民協働による社会貢献「NPO法人連絡会」

市内で活動するNPO法人１４団体が「NPOまつり」に参加し、クイズラリーやパネル展示をとおして来場者に活動をＰＲしました。

高齢者・障がい者の権利を守る「権利擁護事業」

市民後見人養成講座の修了者４名が「市民後見人」として、認知症高齢者の身上保護や財産管理をおこなっております。

思いやり・豊かな心を育む「福祉教育」

市内小・中学校で、高齢者疑似体験、手話や点字の学びを通して、多様な生き方にふれ、命の大切さや相手を理解しようとする心を育みました。

市民と連携した災害対応「災害ボランティアセンター訓練」

日本赤十字社職員による災害への備えや心構えの講話と災害を想定した「災害ボランティアセンター」の受入れ・泥だし訓練を体験しました。